

第1号様式（第7条、第12条関係）

年 月 日

## 上越市地域活動支援事業提案書

(宛先) 上越市長

事業の名称		事業	
団体等の名称		団体等の所在地	
代表者氏名			
電話番号		FAX番号	— —
担当者	氏名	電話番号	— —
	住所	FAX番号	— —

備考 担当者の欄は、団体等の所在地、電話番号等と異なる連絡先に連絡を受ける必要がある場合に記入してください。

## 1 団体等の概要

団体等の設立目的	
活動分野 ※該当する活動の全ての□に、レ点を記載してください。	<input type="checkbox"/> 地域自治を担う人材の育成又は確保を図る活動 <input type="checkbox"/> 住民間で支え合って日常生活に関する課題の解決を図る活動 <input type="checkbox"/> 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進を図る活動 <input type="checkbox"/> まちづくりの推進を図る活動 <input type="checkbox"/> 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 <input type="checkbox"/> 環境の保全を図る活動 <input type="checkbox"/> 地域の安全を図る活動 <input type="checkbox"/> 人権の擁護を図る活動 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成を図る活動 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展を図る活動 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化を図る活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）
設立年月	年 月 日 設立
構成員数	人（ 年 月 日現在）
直近の会計収支決算	・収入額 千円 ・支出額 千円 ・収支差額 千円 （期間： 年 月 日 ～ 年 月 日）
団体等の沿革	

## 2 事業の概要

### (1) 事業の対象自治区、事業主体及び概算事業費

事業の対象地域自治区名	区
事業主体	
事業費等	事業費 千円（補助金希望額 千円）

備考 複数の地域自治区にわたる事業の提案をするときには「事業の対象地域自治区名」の欄に提案を行う地域自治区名を全て記入してください。

### (2) 事業の目的及び期待する効果

--

### (3) 採択の方針等との整合

--

### (4) 事業の内容及び実施方法

--

--

(5) 事業の実施期間及び実施スケジュール

事業の実施期間	年 月 ～ 年 月
事業の実施 スケジュール	

(6) 次年度以降の活動の見通し

--

(7) 事前協議

事前協議の必要性	<input type="checkbox"/> 必要あり <input type="checkbox"/> 必要なし
事前協議先	

備考

- 1 市有地及び市の施設を利用する事業を提案するときは、事業を行う区域の市の総合事務所又はまちづくりセンターと事前に相談を行ってください。
- 2 自己所有以外の土地を利用する事業を提案するときは、土地所有者等と事前の相談を行ってください。



# 記載例

第1号様式（第7条、第12条関係）

年月日は和暦で記入  
してください。

令和2年 4月 1日

## 上越市地域活動支援事業提案書

(宛先) 上越市長

事業の名称	△△地区高齢者いきいき支援			事業
団体等の名称	△△地区活性化協議会	団体等の 所在地	上越市△△区〇〇町10番地	
代表者氏名	会長 〇〇 〇〇			
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
担当者	氏名	△△ △△	電話番号	△△△-△△△△-△△△△
	住所	上越市△△町1-1-1	FAX番号	△△△-△△△-△△△△

備考 担当者の欄は、団体等の所在地、電話番号等と異なる連絡先に連絡を受ける必要がある場合に記入してください。

### 1 団体等の概要

団体等の設立目的	△△地区の高齢者の生きがいくくりなどの支援を通じて地域振興を図る。		
活動分野 ※該当する活動の全ての□に、レ点を記載してください。	<input type="checkbox"/> 地域自治を担う人材の養成・確保を図る活動 <input type="checkbox"/> 日常生活に関する課題を住民間で支えあって解決を図る活動 <input checked="" type="checkbox"/> 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 <input type="checkbox"/> 社会教育の推進を図る活動 <input checked="" type="checkbox"/> まちづくりの推進を図る活動 <input type="checkbox"/> 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 <input type="checkbox"/> 環境の保全を図る活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の安全を図る活動 <input type="checkbox"/> 人権の擁護を図る活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健全育成を図る活動 <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展を図る活動 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化を図る活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
設立年月	平成17年 4月設立		
構成員数	50人（令和2年 1月 1日現在）		
直近の会計収支決算	・収入額	500千円	規約又は会則等の 写しが必要です。
	・支出額	500千円	
	・収支差額	0千円	
	（期間：平成31年 1月 1日 ～令和元年12月31日）		
団体等の沿革	平成17年4月 △△地区活性化協議会設立以降、△△地区の活性化のため高齢者支援をはじめ、まちづくりに関わる様々な事業を実施。		

## 2 事業の概要

### (1) 事業の対象自治区、事業主体及び概算事業費

事業の対象地域自治区名	△△ 区	千円単位で記入してください。 事業費は、千円未満は切り上げて記入してください。
事業主体	△△地区活性化協議会	
事業費等	事業費 1,200 千円 (補助金希望額 1,000 千円)	

備考 複数の地域自治区にわたる事業の提案をするときには「事業の対象地域自治区名」の欄に提案を行う地域自治区名を全て記入してください。

### (2) 事業の目的及び期待する効果

- ・ 高齢者が要介護状態になることを防ぐため、加齢に伴う筋力低下や生活機能低下者への支援を行い、元気で自立した高齢者が多いまちづくりを目指す。
- ・ △△地区に住む高齢者の生きがいがづくりに寄与するとともに、多くの住民等による交流の場を確保することにより、地域全体で支え合う機運の醸成を図る。
- ・ 健康相談・生活相談で地域に住む高齢者の生活を支援することにより、安全安心なまちづくりを推進する。
- ・ 子ども達との交流事業を通じて、地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図る。

### (3) 採択の方針等との整合

- ・ 事業内容は、〇〇〇〇したいと考え事業に取り組むものであり、〇〇区採択方針の〇〇〇の項目に該当するものと考え提案するものです。

各区の採択方針との整合を記入してください。

### (4) 事業の内容及び実施方法

対象者、実施方法や体制などを記入してください。

#### (1) 事業の対象者

- ・ △△地区の住民 (主に高齢者)

#### (2) 事業の実施方法等

- ・ △△地区センターを拠点として下記事業を実施し、高齢者支援、子どもの育成等、地域全体で支え合う機運の醸成を図る。なお、実施体制については、△△地区活性化協議会が中心になり、運営を行うが、多くの地域住民の協力を得て実施する。

##### ①いきいき講座の開催

内 容：健康づくり、趣味に関することなどの講座を開催する。講座の内容は参加者と相談の上、決定することとする。(例：日曜大工講座、冬囲い講座、園芸講座など)

開催日：週に1回程度 (月4回×8か月)

##### ②健康相談・生活相談

内 容：健康相談・生活相談を実施する。血圧や受診状況などのチェックを行う。また、お茶飲み話を通じて生活状況を把握する。

開催日：週に3回程度 (月12回×8か月)

##### ③子ども達との交流会

内 容：高齢者が先生になり、昔の遊びや習字、そろばん等を子ども達に教える。(子ども達を見守ることにより、地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図る)

開催日：週に3回程度 (月12回×8か月)

④スタッフ研修会

内 容： 栄養士や保健師等から要介護状態を予防するための専門知識を学ぶ  
(△△地区活性化協議会の運営スタッフが健康に関する専門知識を学  
び、次年度は外部講師に頼らず自立を図るため実施する)  
研修会で学んだ情報をまとめてテキストを作成し、広く配布する。  
(参加者、住民へ配布 3,000部)

開催数：20回程度

⑤△△地区文化祭の開催

日 時：11月〇日 10:00~16:30

場 所：△△地区センター

内 容：いきいき講座や子ども達との交流事業などで実践してきた成果を発表す  
る場とする。参加者数200人位を予定。

○スペシャル交流会—子ども達による発表会—

高齢者から昔の遊びを習ったことを通して感じたこと、考えたこと  
を、子ども達が感謝の気持ちを込めて、先生である高齢者のみなさん  
に発表するもの。(子ども30人高齢者15人位を予定)

○お茶のみ同窓会

これまで健康相談や生活相談に参加した人たちが全員集合して、お  
茶飲み話をするもの。(50人位を予定)

○いきいき作品展

いきいき講座で作った成果として、日曜大工作品や園芸作品(鉢植  
え)などを展示するもの。(30作品位を予定)

計画内容は予定でもかま  
いませんが、変更がある  
場合、変更手続きが必要  
になる事もありますの  
で、各総合事務所・各ま  
ちづくりセンターに必ず  
ご相談ください。

(5) 事業の実施期間及び実施スケジュール

事業の実施期間	令和2年6月 ~ 令和3年2月
事業の実施 スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年6月~8月……①~③の参加者募集</li> <li>・ 令和2年7月~8月……④スタッフ研修会</li> <li>・ 令和2年7月~令和3年2月……①講座、②相談、③交流会実施</li> <li>・ 令和2年11月〇日……⑤文化祭開催</li> </ul>

(6) 次年度以降の活動の見通し

- ・ スタッフ研修会などを通じて、スタッフが専門知識を身につけることにより、次年度は外部講師に依存せず、相談会等の事業を自前で実施する。
- ・ また、次年度はお弁当サービス事業、放課後児童クラブ事業、地域のシルバー人材派遣事業などが実施できないか、検討していく。

(7) 事前協議

事前協議の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要あり <input type="checkbox"/> 必要なし
事前協議先	〇〇〇〇課 または 土地所有者名

備考

- 1 市有地及び市の施設を利用する事業を提案するときは、事業を行う区域の市の総合事務所又はまちづくりセンターと事前に相談を行ってください。
- 2 自己所有以外の土地を利用する事業を提案するときは、土地所有者等と事前の相談を行ってください。

(8) 事業の収支計画等

ア 収入の部

(単位：円)

費目	金額	明
地域活動支援事業 費補助金	1,000,000	
△△地区活性化協 議会の自主財源	200,000	参加費 @500円×50人×8か月
計	1,200,000	

1,000円未満の端数がある場合は、申請者の負担になります。

自主財源がない場合は記入不要です。

積算根拠について、具体的に記載してください。

工事や業務委託、備品購入、印刷費など見積書が必要です。

詳しいことは各総合事務所、まちづくりセンター、自治・地域振興課へお問い合わせください。

イ 支出の部

費目	金額	説
①いきいき講座 報償費	160,000	講師謝金 @5,000円
②健康相談 報償費	220,000	相談員謝金 @5,000円×44回（前半の外部相談員分。後半はスタッフが対応）
備品購入費	44,000	血圧計 @8,000円×2 体重計 @4,000円×2 握力計 @20,000円
③子ども達との交流会 消耗品費	5,000	マジック、蛍光ペン、画用紙等
④スタッフ研修会 報償費	50,000	講師謝金 @5,000円×10回（市職員以外の講師分）
印刷製本費	540,000	テキスト印刷費 @180円×3,000冊
⑤文化祭 会場使用料	5,000	
消耗品費	20,000	色紙、模造紙、装飾品等
印刷製本費	60,000	ポスター印刷費 @150円×200部=30,000円 チラシ印刷費 @20円×1,500部=30,000円
⑥その他 会場使用料	96,000	@200円×5時間×週3回×4週×8か月
合計	1,200,000	

見積書が必要です。

業務委託をする場合など、10万円以上の経費については2者以上の見積書が必要です。

見積書が必要です。

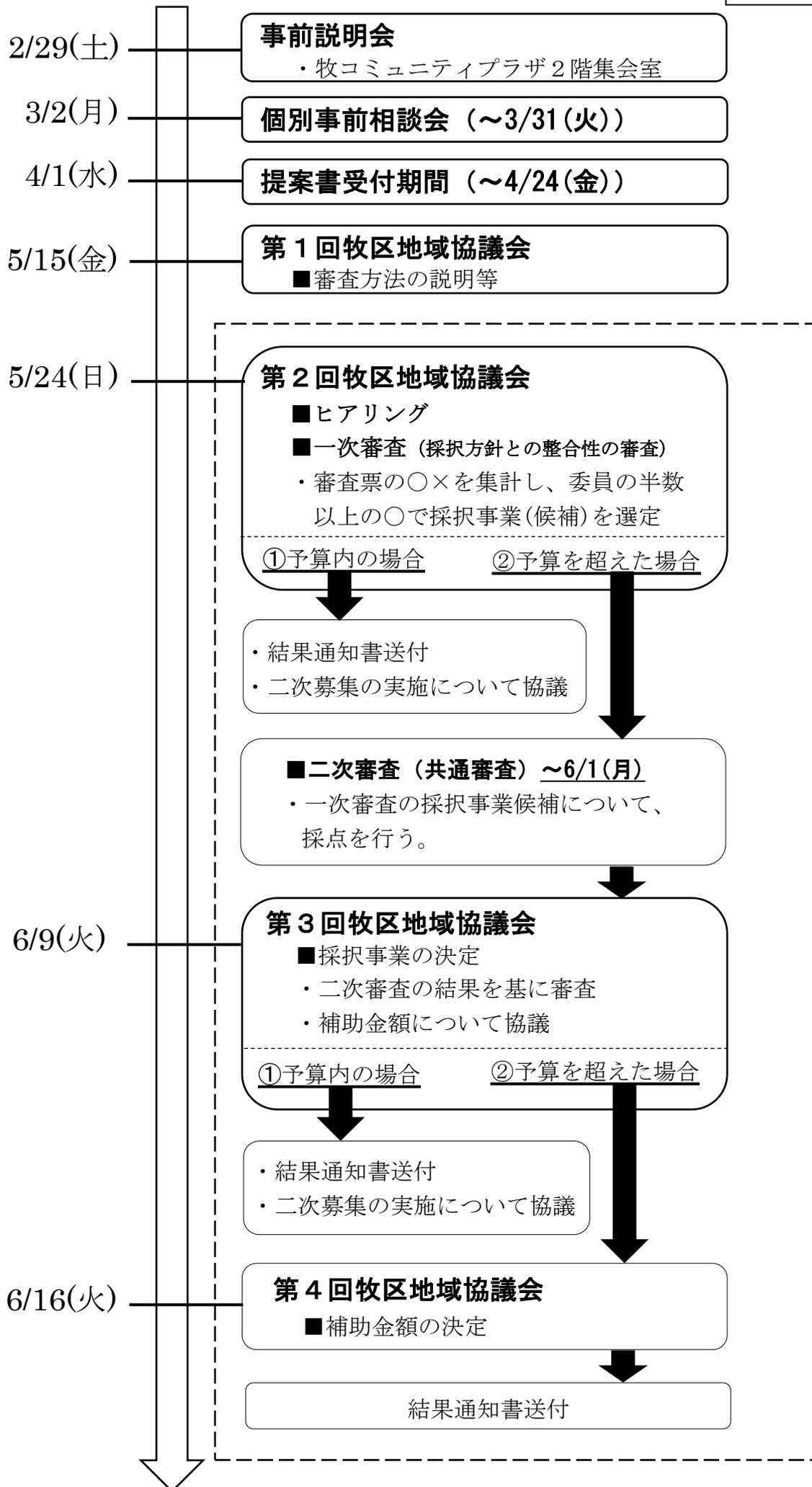
備考 次に掲げる書類を添付してください。

- (1) 規約、会則又は定款の写し
- (2) 提案を行う事業に係る見積書の写し
- (3) 位置図その他の工事図面（提案を行う事業に工事が含まれる場合に限る。）の写し

(上越市暴力団の排除の推進に関する条例に基づく暴力団の排除のための誓約)

- (1) 暴力団の活動において地域活動支援事業として採択を受けるものではありません。
- (2) 地域活動支援事業としての採択により暴力団に対し利益を供与することはありません。
- (3) (1)又は(2)に反する場合は、この提案を不採択とされ、採択の決定を取り消され、又は交付を受けた補助金を返還することを承諾します。

上記について誓約します。（□にレ点を記入してください。）



「牧区地域協議会活動報告会」、「令和2年度地域活動支援事業事前説明会」  
「地域協議会委員公募説明会」 次第

日 時 令和2年2月29日(土)  
午前10時～  
会 場 牧コミュニティプラザ2階 集会室

1. 開 会

2. 牧区地域協議会活動報告会

(1)あいさつ

牧区地域協議会 会長 丸山 進

(2)活動報告

①「地域協議会活動報告」及び「地域活動支援事業実績報告」

牧区地域協議会 副会長 西山 新平

②地域活動支援事業事例発表

・NPO法人牧振興会

事務局長 西條 一明 様

・牧剣友会

事務局 佐々木 亮一 様

(3)質 疑

3. 令和2年度地域活動支援事業事前説明会

(1)令和2年度地域活動支援事業の概要(案)について

(2)地域活動支援事業に関するQ&A(案)について

(3)上越市地域活動支援事業提案書(案)について

(4)質 疑

4. 地域協議会委員公募説明会

(1)あいさつ

牧区総合事務所 所長 山岸 由美子

(2)地域協議会委員の公募について

資料:「地域協議会委員公募の手引き」「応募書類一覧(応募様式と記載例)」

(3)質 疑

5. 閉会

# 牧区地域協議会 活動報告

## 1 地域協議会とは

各区に設置（市の全域に28の「区域」を設置）する地域協議会は“自主自立のまちづくり”を推進するため、様々な立場の住民の皆さん同士が、地域住民としての観点から地域の課題や地域の活性化などについて話し合い、結果を地域に説明したり、話し合った内容を地域団体等との連携・調整により取り組んだりするとともに、市長に意見として伝えること等を行う機関です。

平成17年の市町村合併に伴い、13の旧町村の区域に合併の特例として「地域自治区」を設置し、13区の地域協議会委員が選任されました。

その後、平成21年に合併前上越市の区域に15の地域自治区が設置され、現在、上越市全体で390人、牧区では12人の地域協議会委員が第4期の委員（任期：平成28年4月29日から令和2年4月28日まで）として活動しています。

## 2 会議について

地域協議会は、概ね毎月1回開催しています。会議では、市長から意見を求められた案件の審議（諮問事項）や住民の皆さんが日常生活の中で改善が必要と感じているテーマについての自主的な話し合い（自主的審議事項）などを行っています。

また、会議で話し合った内容は、意見書として市長に提出し、その実現を求めることができます。



地域協議会の会議の様子

## 3 牧区の地域協議会委員

番号	氏名	役職	住所
1	飯田 秀治		牧区岩神1183番地
2	五十嵐 正則		牧区高尾579番地
3	折笠 弘志		牧区泉442番地1
4	金井 貞子		牧区高谷1626番地
5	佐藤 祐子		牧区棚広2631番地1
6	清水 薫		牧区宮口1012番地
7	中川 よしえ		牧区坪山246番地第1
8	難波 一仁		牧区上牧353番地
9	西山 新平	副会長	牧区山口464番地
10	前山 美智弘		牧区桜滝221番地
11	丸山 進	会長	牧区川井沢1429番地
12	渡辺 喜一		牧区荒井847番地

#### 4 会議の開催状況

	開催回数	委員出席率	延べ傍聴者数
平成 28 年度	10	73.3%	5
平成 29 年度	11	75.8%	8
平成 30 年度	9	83.3%	5
令和元年度	7	82.1%	4

※令和元年度は、令和 2 年 1 月末現在の状況

#### 5 市からの諮問事項

(1) 諮問件数

	諮問数	答申	
		答申数	附帯意見等の数
平成 28 年度	1	1	0

(2) 諮問事項

諮問日	諮問事項	担当課
平成 29 年 1 月 11 日	上越市立牧中学校屋外運動場照明設備の廃止について	体育課

#### 6 自主的審議事項

審議事項 (課題検討)	「牧区における空き家対策」について
審議状況	<p>《自主的審議(課題検討)》 7回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年 9 月、10 月、12 月</li> <li>・平成 30 年 1 月、3 月、6 月、9 月</li> </ul> <p>《勉強会》 2回</p> <p>平成 29 年 10 月、平成 30 年 2 月</p> <p>《調査(各町内会)》</p> <p>平成 29 年 11 月 15 日から 12 月 3 日</p> <p>※平成 30 年 1 月：調査結果を各町内会長へ送付</p> <p>《分会(班)》 1回</p> <p>平成 30 年 7 月</p>

## 7 牧区地域協議会委員合同研修会の実施状況

実施日	内容	参加 委員数	会場
平成 28 年 10 月	「地域協議会の活動状況及び課題等」「地域協議会の活性化に向けて」について	9 (21)	清里区
平成 29 年 10 月	「地域協議会の活動状況」「各区共通課題（空き家対策）」「上越市地域協議会の現状と課題」について	12 (20)	牧 区
平成 30 年 7 月	テーマ：「地域の未来は自分たちで創る！ 池谷集落の取り組みより」 講 師：特定非営利活動法人地域おこし 事務局長	7 (41)	板倉区
令和 元年 6 月	テーマ：「資源と人材を活かした地域づくり」 講 師：上南地区地域づくり協議会 会長	11 (36)	牧 区

※平成 28～29 年度は、2 区（牧区・清里区）合同で実施

※平成 30～令和元年度は、4 区（中郷区、板倉区、清里区、牧区）合同で実施

※（ ）内の数値は、参加した各区地域協議会委員の合計



【2 区（牧区、清里区）地域協議会委員合同研修会の様子】



【4 区（中郷区、板倉区、清里区、牧区）地域協議会委員合同研修会の様子】

## 8 牧区地域協議会委員視察研修の実施状況

年 度	視察先 (施設名・団体名等)	参 加 委員数	目 的
平成 29 年度	牧区内危険箇所、池谷集落（NPO法人地域おこし）	9	区内の災害発生の恐れのある箇所や、急傾斜地、土石流危険箇所等を中心に危険箇所の現地視察をする。また、少子高齢化が進んだ地域における集落維持の方策や今後の課題について研修する。
平成 30 年度	中郷区まちづくり振興会、議場見学 等	8	独創的な運営方法や地域資源を活用したまちづくりなどを行っている、中郷区まちづくり振興会の先進的な取り組みを学ぶ。また、上越市の地域協議会の現状について研修し、今後の地域協議会としての取り組み方の参考とする。
令和元年度	陸上自衛隊高田駐屯地、直江津LNG基地	11	身近にある普段見ることができない施設を見学することで、見識を広め、牧区を客観的に見つめ、豊かな知識の向上を図る。



【視察修会の様子（平成30年度(左)：令和元年度(右)】

# 9 「牧区地域協議会だより」発行実績

年度	通算発行号数	発行月
平成 28 年度	第 37 号	平成 28 年 6 月
	第 38 号	平成 29 年 1 月
	第 39 号	平成 29 年 3 月
平成 29 年度	第 40 号	平成 29 年 7 月
	第 41 号	平成 29 年 11 月
	第 42 号	平成 30 年 3 月
平成 30 年度	第 43 号	平成 30 年 6 月
	第 44 号	平成 30 年 11 月
	第 45 号	平成 31 年 3 月
令和元年度	第 46 号	令和元年 6 月
	第 47 号	令和元年 12 月

※令和元年度は、令和 2 年 1 月末現在の状況

【平成 28 年度（第 37 号）】

【平成 29 年度（第 41 号）】

## 牧区地域協議会だより

平成 28 年 6 月 15 日発行（第 37 号） 発行：牧区地域協議会

今年 4 月に地域協議会（委員）の任期満了に伴い改選が行われ、新任委員 4 名を含む新委員の委嘱が完了いたしました。また、引き続き委員による活動をおこなうことになりました。何となくおぼろげなご挨拶の毎日よりお聞き申し上げます。

5 月 13 日（金）に、新委員による地域協議会を初開催しました。今回は、地域の課題や問題点を話し合い、方向性を持った活動を展開し、自主的審議事項として議論し、市に提案していきたいと考えております。住みやすいまちづくりを念頭におき、地域協議会の活動に取り組みたいと考えています。

今期も地域協議会だよりを随時発行させていただきますが、ご購読の程よろしくお願ひ申し上げます。

牧区地域協議会  
会長 丸山 道

委員 丸山 道  
西川 新一  
飯田 秀治  
五十嵐 正則  
折井 弘道  
佐藤 博子  
清水 薫  
中川 よしえ  
津波 一二  
前山 美智弘  
渡辺 善一（敬称略）

---

### 第四期地域協議会委員が選任されました

5 月 13 日（金）に行われた第 1 回牧区地域協議会において、次がごとなり、会長及び副会長の選任が完了いたしました。今後の地域課題解決のために活躍いただけることとす。（任期：平成 28 年 4 月 28 日～平成 32 年 4 月 28 日まで）

---

### 地域活動支援事業の採択が決定しました

牧区地域協議会だより「まちの未来」をテーマに、まちの元氣づくりを目的として、まちづくり活動の支援事業として「まちづくり活動の支援事業」を採択いたしました。採択された事業については、協議会にご確認ください。

---

### 地域活動支援事業の二次募集をします

募集期間：6 月 17 日（水）～7 月 30 日（木）  
募集内容：7 月に応募団体を対象として、活動の支援を行います。  
※詳しくは、協議会だよりをご覧ください。  
牧区総合事務所 地域活動支援課 047-925-2100（受付時間）

## 牧区地域協議会だより

平成 29 年 11 月 15 日発行（第 41 号） 発行：牧区地域協議会

上半期の取り組み

- ◇ 4 月 23 日（第一回）
  - ・平成 28 年度地域活動支援事業の決定について
  - ・平成 29 年度地域活動支援事業のヒアリング
- ◇ 4 月 26 日（第二回）
  - ・平成 29 年度地域活動支援事業の決定について
  - ・平成 29 年度（第三回）
  - ・地域協議会への参加について
  - ・視察研修の内容検討について
  - 視察研修参加
  - 視察研修 2 人参加（延べ 25 人）
  - 7 月 1 日
  - 地域協議会より第 40 号発行
  - 7 月 4 日（第四回）
  - ・視察研修の内容について
  - 視察研修（牧区内危険箇所 10 箇所）
  - 8 月 22 日（第五回）
  - ・地区協議会で提出された課題の検討
  - ・視察研修の所感及び反省等
  - ・清見区・牧区地域協議会合同研修会の開催について

◇ 9 月 26 日（第六回）

- ・平成 28 年度上越市地域協議会の状況について
- ・他

**視察研修報告**

今年度の牧区地域協議会の視察研修は、7 月 27 日に、①牧区内の危険箇所 10 箇所を視察し、②市内の危険箇所 9 箇所を視察し、実施いたしました。①牧区内の危険箇所については、地谷集落等での発生を恐れる川、土石災害の危険性が高いこと、区中心部を流れる箱田川も整備されていない箇所もあり、改めて災害に対する認識の重要性を感じました。

②市内の危険箇所については、地谷集落等での発生を恐れる川、土石災害の危険性が高いこと、区中心部を流れる箱田川も整備されていない箇所もあり、改めて災害に対する認識の重要性を感じました。

③市内の危険箇所については、地谷集落等での発生を恐れる川、土石災害の危険性が高いこと、区中心部を流れる箱田川も整備されていない箇所もあり、改めて災害に対する認識の重要性を感じました。

---

### 行くために取り組んだ地域おこしの活動と、これからの展望を紹介して頂きます

地谷集落は昭和 30 年代には 37 戸 211 名だった戸数と人口が、平成 21 年には戸数 6 戸 13 名にまで減少するという過疎化の進んだ集落でした。平成 13 年 10 月発生の中越大地震により、過疎化が一層進行してしまっているという危機感から、「地域おこし実行委員会」を立ち上げ、震災復興支援のボランティアとの協力で集落を維持すべく、震災復興と震災生計の確立、後継者の育成、受け入れを目指した活動に取り組んできました。その結果、平成 28 年には移住者を始め、11 戸 24 名の集落となり、高齢化率は 35%と若返りました。（写真面をご覧ください）



牧区地域協議会の活動状況等を掲載

# 地域活動支援事業実績報告

## 1 地域活動支援事業とは

身近な地域における課題の解決を図り、それぞれの地域の活力を向上するため、市民の皆さんが自発的・主体的に行う地域活動に対して支援を行います。

また、この地域活動支援事業は、補助金の使い道を市民の皆さんに考えていただき、活動することを通して、自治や地域づくりを考えていただく機会でもあります。

## 2 牧区地域活動支援事業実績

(金額：千円)

年度	募集区分	採択事業数	事業費	補助額
平成 28 年度 (5,100 千円)	当初募集	14	5,945	4,836
	二次募集	3	250	189
	合計	17	6,195	5,025
平成 29 年度 (5,000 千円)	当初募集	10	7,761	4,985
平成 30 年度 (5,000 千円)		11	5,765	4,929
令和元年度 (5,000 千円)		14	5,712	5,000

※ ( ) の数値は、牧区の配分額

※令和元年度は、令和 2 年 1 月末現在の状況 (補助額は変更の可能性あり)

## 3 牧区地域活動支援事業一覧<<平成 28 年度～令和元年度>>

### 【平成 28 年度 当初募集】

(金額：千円)

	事業名	団体等	事業費	補助額	事業概要
1	牧区活性化事業	フューチャー牧	129	70	市内外から参加者を募り、昨年に続き山菜採り体験と山菜料理を楽しむ会を開催し、稲刈り体験を活用することで地域交流を図る。
2	川上集会所ステージ側土台及び土台東置換床沈下修繕対策事業	川上地区協議会	538	450	川上地区の活動拠点施設、指定緊急避難場所、更に国の登録有形文化財である川上集会所の土台が、湿気により腐食し深刻な被害状況であることから、早急に修繕を行い、施設の安全性の確保と延命化を図る。

3	屋号を活かし、地域を活性化させる事業	屋号を残す会	361	320	高齢化が進む地区の「屋号」を調査し、表札を作成することで、日本が誇るべき文化を後世に伝えるとともに、集落全体の活動を通し、牧区定住者の育成と生活環境の維持向上に繋げる。
4	「夢まつり」事業	牧文化協会	148	147	「夢まつり」の開催により、生涯学び続けることの楽しさを伝え、健やかな暮らしを応援するとともに、高齢化など類似の課題を有する近隣団体等との人材交流による学習分野の広がりを目指す。
5	危険看板設置事業	柳島町内会	152	136	地域の危険か所に看板を設置し、注意喚起の促進と危険か所の判断が容易となることで、子どもたちの安心・安全指導に役立つ。
6	地域文化交流と 10周年記念事業	大輪の会	429	397	地域住民の高齢化、人口減少等により文化の継承が危ぶまれる中、民謡の踊りを学び推進することを目標とし、地域に出向くことにより、区の活性化を図る。
7	原地区集落ネットワーク圏活性化プラン作成事業	原地区協議会	500	450	原地区における将来的な集落のあり方等を示す「原地区集落ネットワーク圏活性化プラン」の策定に向け、地区住民、関係団体によるワークショップを重ね、住民の生活実態、地域ニーズ、地域課題等を把握するなど、本格的な計画策定に資するための予備的調査を行う。
8	岩神城趾 遊歩道整備事業	岩神町内会	514	400	岩神城址までの遊歩道の急傾斜地に擬木の階段を設置することで、現地までの遊歩道の安全を確保し、地域の活性化を目指す。

9	泉 棚田の稲ほたる祭事業	泉町内会	698	450	山村の魅力の情報発信と協働、自然の恵みへの感謝、集落の連帯感の創出、次世代への継承を目的に、棚田に1,300個のキャンドルを灯し、コンサート等のイベントを実施する。
10	地域づくり事業	NPO法人 牧振興会	448	360	地域づくり啓発活動、東京牧村会との交流、冬季スポーツ講座の開催により、元気のある地域を目指し、すこやかに暮らせるまちづくりに取り組む。
11	盆おどりの伝統を継続する事業	高尾夏祭り 実行委員会	557	450	地区に伝わる盆踊りを継承しながら、帰省者に揃いのゆかたを着ていただき、交流と意見交換をすることで地域活性化を図る。
12	クロスカントリースキー夏期トレーニング環境増強事業	牧クロスカントリースキークラブ	407	406	小中学生のクラブ員が年間を通し活動中であるが、新規加入者があったことと既存のローラースキーの老朽化により安全が確保できないことから、夏期トレーニング用に新たにローラースキーを購入・配備し、冬期シーズンに向けて成果を上げる。
13	塩の道上牧古代詞の保存と観光地域交流事業	上牧町内会	524	400	上牧町内会では、塩の道、上牧古代詞の保存に努めており、案内看板等を作製することで、保存、周知を行い、上牧に観光に訪れる方の増加を図る。
14	牧剣友会健全児童事業	牧剣友会	540	400	子どもたちの体力の向上及び礼儀作法の取得などを目的とし30年以上活動を続けている。新たな指導者用の防具を購入し、子どもたちの士気を高め、効果的な指導を図る。



↑岩神城趾 遊歩道整備事業



↑泉 棚田の稲ほたる祭事業

【平成 28 年度 二次募集】

(金額：千円)

	事業名	団体等	事業費	補助額	事業概要
1	牧愛好会活動活性化事業	牧愛好会	85	46	ママさんバレーチームのユニフォームを新調することによりチーム団結を強め、大会での好成績につなげるとともに、仲間の親睦を深め、健康増進を図る。
2	牧フレッシュガールズ夢☆感動事業	牧フレッシュガールズ	57	40	小学生バレーボールチームの技術向上と仲間づくりを図り、大会での上位入賞を「夢」とし、チーム一丸となって練習に励むため、ボール及びかごを購入し練習環境を整える。
3	地域の交通安全対策事業	牧区地区協議会連絡会議	108	103	LED セーフティベスト及びLED 合図灯を購入し、地域の防災や各種イベント等で、交通整理や参加者誘導に役立て、安心・安全を守る。



↑牧愛好会活動活性化事業



↑牧フレッシュガールズ夢☆感動事業

## 【平成 29 年度当初募集】

(金額：千円)

	事業名	団体等	事業費	補助額	事業概要
1	サマーナイトイルミネーション・サマーナイトマーケット開催事業	牧商工会	488	445	牧区のランドマークであるジャンボツリーを夏期に有効活用し、点灯開始日に点灯式と合わせ、夜の軽トラック市を開催することにより、地域の賑わいの創出と地域商工業者や地域経済の活性化を促し、過疎化や買い物環境の改善に向けた取組を行う。
2	屋号を活かし、地域を活性化させる事業	屋号を残す会	440	397	高齢化が進む地区の「屋号」を調査し、表札を作成することで、日本が誇るべき文化を後世に伝えるとともに、集落全体の活動を通し、牧区定住者の育成と生活環境の維持向上につなげ、地域活性化に貢献する。
3	地域情報発信支援事業	NPO法人 牧振興会	2,995	891	高速デジタル複合機器の購入により、安価で速やかな大量カラー印刷と情報発信が容易となることで、地域住民や各種団体等の要望を支援し、地域住民同士のコミュニケーションの活性化と地域づくりを推進する。
4	岩神城跡遊歩道整備事業	岩神町内会	318	276	岩神城跡までの遊歩道の急傾斜地に擬木の階段を設置することで、現地までの遊歩道の恒久的な安全を確保するとともに、標識柱を設置することにより、地域の文化継承に努める。
5	剣道指導拡大事業	牧剣友会	510	454	小学生を中心に指導を行ってきたが、中学生用の防具を購入することにより、引き続き稽古を続け、少子化が進む牧区において、成長期における社会教育観点も取り入れた健全育成を図る。

6	クロスカントリースキートレーニング及び大会環境増強事業	牧クロスカントリースキークラブ	637	588	小中学生のクラブ員が年間を通し活動中であるが、大会のスタイルがクラシカルからスケータリング競技へ移行していることに加え、選手の増加に対応するため、スケータリング用ローラースキーやテントを増設して環境を整備し、牧っ子の育成に取り組む。
7	「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業	牧文化協会	285	284	文化活動実施団体の相互の連携を図り、地域文化の振興・継承や、人と人との交流の場を提供することなどを目的として「夢まつり」を開催することで、学習環境を整え、生涯学び続けることの楽しさや牧区の健やかな暮らしを応援する。
8	泉 棚田の稲ほたる祭事業	泉町内会	700	499	山村に暮らす自信と誇りを確かめ合い、魅力の発信と協働・共感の創造、次世代への継承、自然の恵みへの感謝、集落の連帯強化を目的とし、今年8回目となる祭を開催し、コンサートで来場者の交流を図る。
9	地域の活性化促進事業	牧区地区協議会連絡会議	408	393	LEDセーフティベストや投光器を配備することにより、「まき深山のともしび」等の地域活動への参加者の安全を確保する。また、重機をレンタルし、冬期間のイベントの支援を行う。
10	原地区集落ネットワーク圏活性化プラン策定事業	原地区集落ネットワーク圏協議会	980	758	平成30年度に予定している「地域おこし協力隊」の受け入れを見据えた中で、原地区の住民の参加を基盤に「計画策定委員会」を発足させ、「原地区集落ネットワーク圏活性化プラン」を策定し、公表する。



↑ 屋号を活かし、地域を活性化させる事業



↑ 地域情報発信支援事業



↑ クロスカントリースキートレーニング及び  
大会環境増強事業



↑ 原地区集落ネットワーク圏活性化プラン策定事業

【平成 30 年度当初募集】

(金額：千円)

	事業名	団体等	事業費	補助額	事業概要
1	柳島サロン研修会 等支援事業	柳島町内会	160	160	年 6 回開催している柳島サロ ンに参加する高齢者及び足腰 の悪い会員が、長時間の研修 に参加できるよう和室用座敷 椅子を設置した。また、研修 等において資料の説明時に必 要となるホワイトボードを設 置するなど、環境を整備する ことで、多くの会員の参加を 促し交流の場を創出する。
2	屋号を活かし、地 域を活性化させる 事業	屋号を残す 会	306	276	高齢化が進む地区の「屋号」 を調査し、表札を作成するこ とで、日本が誇るべき文化を 後世に伝えるとともに、集落 全体での活動を通し、牧区に 定住しようとする人材の育成 と生活環境の維持向上、地域 活性化に貢献する。

3	原地区集落ネットワーク圏都市交流活性化事業	原地区集落ネットワーク圏協議会	814	380	地域との交流人口の増加、牧区の魅力発信、地域住民間の連携による地域活性化や賑わいの創出を目的に、平成29年度に策定した「原地区集落ネットワーク圏活性化プラン」にある「農を通じて都市部との交流を活性化させる」一端として、都市部から参加協力を者を招聘して「深山の新そば祭り」等を開催し当地区の魅力を地区内外に発信するとともに、地域住民間の連携を強めていく。
4	地域づくり事業	NPO法人 牧振興会	134	108	地域課題に対する再認識と住み慣れた地域の中で情操豊かな生活ができる地域づくり、地域コミュニティの推進を図るため、県内にある公共施設等の3施設について、視察研修を実施する。
5	「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業	牧文化協会	472	469	文化活動実施団体と連携を図り、地域文化の振興・継承及び学ぶことの楽しさや人と人との交流の場を提供することなどを目的に「夢まつり」を開催する。また、学習環境を整えて生涯学び続けることの楽しさを伝え、牧区の健やかな暮らしを応援する。
6	剣道活動団結事業	牧剣友会	520	467	社会教育的観点を取り入れた子どもたちの健全育成を図ることを目的に、応援旗の整備や稽古用の木刀を更新し団結力を高めて安全に稽古が実施できる環境を整備する。

7	宇津小学校同窓会 都市交流事業	白峰地区振 興協議会	954	868	8月に旧宇津小学校庭、校舎にて、懐かしの展示、写真パネル等を展示する。また、盆踊りを行い、地域の絆を深める機会を設けるほか、子どもの頃の思い出の文集や、昔から本事業までの活動の写真を掲載した記念誌を作成し、社会教育の推進や交流拡大に寄与することで地域の活性化を図る。
8	地域の活性化促進 事業	牧区地区協 議会連絡会 議	810	801	地域交流の場の創出及び地域活性化を図るため、「まき深山のともしび」を開催する。夜間においては、誘導員や灯光器を配備しイベント参加者の安全確保に努める。また、冬期間の会場準備となるため重機をレンタルしイベントの支援を行う。
9	沖見地区観光拠点 作り事業	レストハウ ス「けや き」周辺整 備の会	459	401	沖見地区の観光振興及び地域の活力向上となる観光拠点を整備するため、旧ふるさと村レストラン「けやき」周辺の荒廃地を活用して「そば畑」の造成や周辺遊歩道に「紫陽花」、「ヤマブキ」、「柿」の植栽を行う。
10	サマーナイトイベ ント開催事業	牧商工会	620	549	交流の場の創出と地域活力の向上を図るため、牧区のランドマークであるジャンボツリーの点灯式や軽トラック市等を含むサマーナイトイベントを開催する。イベントを通して、地域の賑わい創出と地域商工業者や地域経済の活性化に貢献する。

11	歴史、文化、番所、保存事業	上牧町内会	516	450	地域の歴史、文化の継承を目的に、江戸時代に「塩の道」経由地の牧峠に設置された「口留番所」を復元し整備を行った。また、外国からの旅行者も数多く来所することから、翻訳機器を導入し観光推進を図る。
----	---------------	-------	-----	-----	---



↑ 柳島サロン研修会等支援事業



↑ 沖見地区観光拠点作り事業

【令和元年度当初募集】

(金額:千円)

	事業名	団体等	事業費	補助額	事業概要
1	地域の活性化促進事業	牧区地区協議会連絡会議	742	702	地域の活性化と発展持続性、地域外への情報発信を目的に、「まき深山のともしび」を開催する。また、重機等をレンタルし、冬期間におけるイベントの支援を行う。
2	小川公園新設事業	小川町内会	540	540	お年寄りの引きこもり防止や地域住民の議論や活動を通じて団結力を高めるため、空き地を利用して気軽に利用できる公園を整備する。また、子どもたちに地域の自然を体験してもらい、定住の人材確保を図る。
3	いきいき健康づくり体操普及事業	牧区 山百合ダンスサークル	196	56	地域住民がお互いに支え合い、健康を維持し、明るく元気に自立した生活ができるようにすることを目的に、健康づくり体操の研修会等を開催し、普及活動を行う。

4	屋号を活かし、地域を活性化させる事業	屋号を残す会	278	252	高齢化が進む地区の「屋号」を調査し、表札を作成することで、日本が誇るべき文化を後世に伝えるとともに、集落全体の活動を通し、牧区定住者の育成と生活環境の維持向上に繋げる。
5	地域交流、歴史、番所を活かした教育広場事業	上牧町内会	305	299	昨年度に本事業を活用し復元した「口留番所」について、小学校の勉強会開催や観光客で来場者が増えている。来場者が現地にて安全に歴史等が学べるようにすること及び地域交流、元気なまちづくりを推進するため、設備・環境の整備を行う。
6	地域づくり活性化事業	NPO法人 牧振興会	624	488	牧区の現状を知り、自身で話し合うことで牧区に必要なものの方向性を捉え、私達自身で助け合い、支え合う仕組みの構築を目指す。また、牧区を客観的に見つめ、豊かな知識の向上を図るため、施設等の視察を行う。
7	牧剣友会発足 35 周年記念交流剣道事業	牧剣友会	372	314	人口減少や少子化が進む牧区において、剣道を通して子どもたちと関わり合い、他チームとの交流や保護者同士の連携、地域交流を推進するため、記念大会を開催する。
8	川上 山里の風事業	川上地区協議会	703	636	各種イベントを通して、地域住民が安らぎや誇りを感じ絆を深めることを目的に、国登録有形文化財「川上会館」を整備し、継続的にイベント等が開催できるよう管理していく。併せて、山間地や木造会館の魅力を地区内外へ発信していく。

9	沖見地区観光拠点づくり事業	レストハウス「けやき」周辺整備の会	177	176	平成30年度に本事業を活用してレストハウス「けやき」前の荒廃地を整備し、周辺遊歩道の整備と八重桜の苗木の植栽を行った。活動を継続し、沖見地区の観光拠点とする。
10	サマーナイトイベント開催事業	牧商工会	642	626	イベントを通して地域の賑わい創出と地域商工業者や地域経済の活性化を図るため、継続事業としてサマーナイトイベントを開催する。また、地域住民との更なる融和を目的に、区内中学生が制作したイルミネーションロードを設置する。
11	クロスカントリースキー活動情報及び安全インフラ整備事業	牧クロスカントリースキークラブ	452	352	子どもたちのさらなる活躍を目指し、元気あふれる牧っ子を育成するため、スキー大会における情報インフラ及び安全な練習環境を整備する。
12	棚広新田魅力発見事業	棚広新田町内会	141	118	集落外の人々に対する当集落の魅力の発信及び交流を通して集落の活性化を図るとともに、定住者を確保するため、イベントを開催する。
13	上越市牧区老人クラブ連合会創立50周年記念事業	牧区老人クラブ連合会	540	441	高齢者の経験と知恵を活かし、牧区の活性化と生きがいづくりを推進するため、記念式典(講演会)を開催する。

※採択事業(14事業)の内、1事業の辞退あり

※令和2年1月末現在の状況であるため、事業費及び補助額は変更の可能性あり



↑ 地域交流、歴史、番所を活かした教育広場事業



↑ 棚広新田魅力発見事業